

## 高収益作物の栽培強化による経営の複合化 ～塩澤 一也 氏～

### 経営体の概要

事業実施前：平成17年

基幹作物：小麦、ばれいしょ、てんさい、  
たまねぎ、メロン

経営面積：34.3ha

事業実施後：平成28年

基幹作物：小麦、ばれいしょ、てんさい、  
たまねぎ、メロン

経営面積：38.3ha

### 取組の経緯と経営転換のポイント等

農地造成と区画整理による大区画化、農地の連続性確保により農作業の効率化、安全性の向上が図られるとともに、用水の整備によって防除等用水の運搬作業が軽減されたことで、経営規模の拡大とたまねぎ、メロン等の野菜作の複合化を進めた。

### 営農改善のポイント

#### ①自然条件を生かしたたまねぎ栽培

積算気温が低いため病害虫が発生しにくいこと、5年程度のローテーション栽培の堅守、これらによる農薬使用量の低減を維持しながら管内主産地（北見市、訓子府町、置戸町）と同等の生産性を実現している。



出荷を待つたまねぎ

#### ②育苗ハウスを活用したメロン栽培

たまねぎ育苗後のハウススペースや小型かん水機を活用したメロン栽培を行っている。安全安心をモットーに、メロンは生産集団「KKYきよさとメロングループ」として北海道クリーン農業推進協議会の北の農産物表示制度「YES!clean」の認証を受けている。



KKYきよさとメロン

#### ③防除用水利用の省力化

従前の防除用水は、地下水を貯水槽に汲み上げてからほ場に運搬していたが、ほ場給水栓整備による短時間給水の実現と運搬作業の解消を背景として、大型スプレーヤーを導入し、防除作業経費の大幅な削減を果たした。



従前の給水施設

### 事業概要

事業種：畑地帯総合土地改良パイロット事業

関係市町：斜里郡清里町

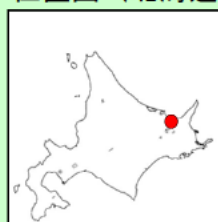
受益面積：12,910ha

事業期間：昭和53年～平成21年

事業目的：用水改良、畑地かんがい、排水改良、  
農地造成、区画整理

主要工事：ダム1箇所、頭首工3箇所、用水路229.7km、  
排水路9.1km、道路32.5km、  
農地造成453ha、区画整理7,593ha

### 位置図（北海道）



小清水地区

### <問い合わせ先>

北海道開発局 農業水産部  
農業振興課 調整係

電話：011-709-2311

（内線5684）

（平成28年度調査時点）